



だっこするよ

2021年4月

社会福祉法人茂原高師保育園

北区立赤羽台保育園

〒115-0053 北区赤羽台1-4-11-105

TEL 3900-0189 FAX 3907-8690

園長 奥戸 昌子

人生の特別な時間 乳幼児期こそ 一人ひとりを大切に育てます

満開の桜、生命が光輝く春の到来です。子どもたちの新しいスタートを祝福しているようです。3月13日、卒園式が行なわれ41名の年長児が巣立っていきました。その表情は一人ひとり満足感に包まれ自信に満ちていました。新たな場所でもしっかりと自分の根を張っていくことなのでしょう。これからの人生も自分らしく幸福を探究して欲しいと願っています。そして、新年度！2021年度4月、48名の新しいお友達を迎えて217名の子ども達と75名の職員で「昼間のおうち、大きな家族」が始まりました。新型コロナウイルスの感染状況はまだ収束には至らず、引き続き感染防止に配慮した毎日となりますが、コロナ禍での生活は、今までの保育を考え直す機会となり、より「個」を大切にしたい取り組みが出来たと感じております。一人の人間として尊重し「あなたはどうか生きてほしい？」と問いかけながら人生の特別な時間である乳幼児期を見守って参ります。

保育目標は、乳児組(0~2歳)は、一人ひとりの人権を配慮したケアを行ない、自分で「できたよ」を一つ一つ積んでいきます。自立のペースも一人ひとり違っていいのです。子どもたちは、どんなに小さくても「自分で」「自分で」と試しながら「自分になろう」としています。生きていくこの世界を信じて、自分で考え、自分で判断し、自分で決定し、自ら行動する資質をゆっくりと育てていきます。

幼児組(3~5歳)は、幼児教育となります。「1、【知識及び技能の基礎】豊かな体験を通じて感じたり、気付いたり、分ったりできるようになる。2、【思考力・判断力・表現力等の基礎】気付いたことや出来るようになったことを使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする。3、【学びに向かう力、人間性など】心情、意欲、態度が育つ中で、よりよい生活を営もうとする。」発達に応じた体験を重ね、自分のやりたいことが出来ること、多様な人間関係の中で育ち合うこと。時に起る喧嘩は、対等だから出来るのです。何かに躓いても折れない心を育てたいですね。そして、他者と関わる体験こそが、自己肯定感を育みます。子どもたちの成長に無駄なことは一つも無いんですね。楽しみです。

そして、コロナ禍でもあり、経済産業省でも健康経営を提唱されています。個人や企業レベルでなく、社会全体で生きがいややりがいをもった幸福な生き方を広げていこうと。「Well 良好な+being 在りよう」子どもも大人も、安心して遊び、仕事し、生活して、社会的にも良好な関係を築き、自分らしい人生を楽しむこと。周りとの良好な状態は生産性など経済効果も高まり、健康寿命も延びるそうです。人間は、感情の動物と言われます。改めて健康な心持ちの大切さを知りました。

4月、入園や進級されて新生活のリズムに慣れるまでは親子共に疲れます。焦らずゆっくりと慣れていきましょう。子どもたちは「群れ」の場に加わってすぐに遊び始めます。ご安心ください。ママやパパたちのWell-beingは我が子へ伝わります。是非「うちの子は、大丈夫！」とハッピーな気持ちで登園してください。そして、子育ての悩みなど不安な時には声を掛けてくださいね。ご家庭と園は安心のパートナーです。

さて、登降園時の打刻などコドモンへの導入にご協力いただき有り難うございます。コドモンは、働き方改革の推進のため、業務の効率化や軽減と保育の質を向上させる目的で導入しました。今後、「保育の見える化」を推進させて、子どもたちとの日常を発信して参ります。2021年度春、新しいチーム、保護者も地域の皆さんも保育課も職員も大人達がしっかりと手を繋ぎその輪の中で手塩にかけて愛情たっぷりに育てていきましょう。園のWell-beingを高めていきましょう。写真は3/27 2歳児おおきくなったねの会です。みんな笑顔でした！